

短歌 全16首

悠う湯の百才までのケアハウス皆んな元気で長寿なり
 大木の金木犀は香を放ち我が家の庭に客の歩止むる
 我よりはみな歳若き友なればパワーと笑顔を受けて清しき
 エンジンに火を入れ油温確かめるスーパーセブンの超加速音
 運動会空を見上げて願いこめ窓に吊したてるてる坊主
 樹木希林役者貫きガンで逝き百歳時代未だ未だ若い
 パンダ見に出かける親子浮かれ脚三連休の中日晴れたり
 やうやくに猛暑の去りて天道虫香炉の上にひねもす遊ぶ
 手造りのおはぎを土産に母の来て嬉しき夢の覚めて儂し
 何事も後期は注意娘の言葉わずらわしきも嬉しさも有
 集落に一戸となりし米農家無事収穫の束積みて行く
 繻ける月のロマンを夢に見し果てなき宇宙を一人旅行く
 茂る草刈られし後の空田んば際立ちて映ゆ曼珠沙華
 一日が過ぎればあちらが近づいていつか来る日のいつかを怖る
 校庭の水取る作業何時から？先生に感謝運動会
 我が名前出征の父が付けくれしこの名と生きて七十余年


下日野沢 新井 進
 三沢 新井 民子
 三沢 新井 叶子
 皆野 根岸 詩子
 皆野 石原 達也
 皆野 村田ハツ代
 上日野沢 四方田利男
 皆野 引間 万亀
 皆野 打木 昭広
 下日野沢 浅見 豊子
 皆野 戸塚喜久雄
 三沢 眞下 杏子
 皆野 根岸 詩子
 国神 藤原マキ子
 三沢 鈴木 貞恵
 皆野小六年 太幡 琉美花
 下田野 新井 節子

榎本順江選 投稿数11句

秋の雲手をのぼし立つ組体操
 皆野小六年 太幡 琉美花
 (評)楽しい運動会での組体操のポーズ。のぼした手の先には爽やかな秋の空にゆつたりとし浮かぶ雲。組み体操の形も見事に決まり、大きな歓声が秋空に届きます。二句目、作者は八十五歳。慶寿の祝いに招待され迎えの車を待つ。秋空も気分も晴れやかに。共に招待された人達と喜ばしいひと時を過ごせたとおもいます。三句目、曼珠沙華は、彼岸花、幽霊花、孤花など別名がいろいろある。群れて咲くと美しくもあり怪しくもある景。穏やかな川の流れに添って群れ咲く朱の中に佇む作者。天高し慶寿の会へ車待つ
 久方の雨にこぼる、金木屋
 三沢 眞下 杏子
 三沢 鈴木 貞恵
 朱に染まる川辺の園の曼珠沙華
 近寄れば爆ぜむばかりの風仙花
 三沢 新井 叶子
 皆野 花垣好比古
 秋アカネソバの花咲く山畑に
 下日野沢 新井 進
 栗飯や植ゑし考妣を想ひ食ふ
 冷えし夜の花壇を照らす白露かな
 皆野 村田ハツ代
 夕迫り秋刀魚焼く香の漂い未
 兜太碑の横で腹出すひがん花
 皆野 藤原マキ子
 婆逝きて拾う影無し栗林
 国神 藤原マキ子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 みらい創造課までお寄せください。
5日必着
 1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

12月号の締め切りは、11月12日(月)まで。

問合せ みらい創造課 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

ふうか 風花ちゃん
 腰区 浅見 直輝さん 裕子さん



Happy Birthday

お誕生日おめでとう。元気にすくすく育ってね。

今月の題字
 三沢小2年 長島 一華さん
 いちか



児童の見守り放送
 国神小6年 黒澤 守さん
 まさる

